

【概要版】第3期八千代市スポーツ推進計画(素案)

第3期八千代市スポーツ推進計画策定の考え方

第3期推進計画の策定に当たっては、現行の計画をベースとしたうえで、現在の本市におけるスポーツ環境等を踏まえて、見直しや修正を加えた形となっております。

本計画素案の策定に際し令和6年2月に市民へ「スポーツに係るアンケート調査」を実施しましたが、「週1回以上のスポーツ実施率」について前回調査時（令和元年度）の36.6%から、今回の調査結果では、58.4%と大きく数字を伸ばしました。



第3期目となる本計画においても、令和12年度に目標値をさらに伸ばせるよう、これまでの理念や「スポーツ活動の推進」、「スポーツ環境の整備」、「スポーツ施設の充実」の3本柱を大きく変更せずに継続し、市民の皆様に分かり易い計画となるよう、主な施策事業の明記や推進状況を確認するための目標値の設定をお示ししています。

主な変更点

- ・多様性を認め合うまちの実現として、持続可能な開発目標への取組を明記（本計画は、SDGsが示す17のゴールの内、「3 すべての人に健康と福祉を」、「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」の目標達成に資する取組みである）

- ・スポーツの概念を幅広く捉え、「する」、「みる」、「ささえる」スポーツだけではなく、階段の昇り降りや、駅までの徒歩の移動、身近な場所・環境での散歩等、日常生活における身体活動を含むものとしても捉え、「スポーツ」という概念や活動を広く定義づけ、市民のだれもが楽しめるスポーツを推進

- ・社会状況や市の現状を踏まえ、重点的・先導的に取り組むべき施策を設定

- ・パリ2024オリンピック競技大会にて、本市出身のオリンピックメダリストが輩出されたことから、子どもたちとの触れ合いの機会の創出等、かけがえのないレガシーを承継させるための事業を企画・検討、また、次世代を担う子ども達のための支援制度を検討

- ・「市民体育大会」、「県民体育大会」の名称をそれぞれ「市民スポーツ大会」、「県民スポーツ大会」にそれぞれ修正

計画の具体的な取り組み

第1節 スポーツ活動の推進

- 1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- 2 障害ある人のスポーツ活動の推進
- 3 スポーツ大会の開催
- 4 **競技力の向上 ★**

オリンピックメダリストをはじめ、民間企業との包括的連携協定を活用したトップアスリートによるスポーツ教室の開催等の検討

次世代を担う子ども達のための支援制度の検討

第2節 スポーツ環境の整備

- 1 スポーツ指導員の養成
- 2 スポーツ推進委員の資質向上と活動の充実
- 3 **関係団体との連携 ★**
- 4 総合型地域スポーツクラブの活動支援
- 5 スポーツ情報の収集と提供

スポーツ協会・レクリエーション協会等と協議の上、さらなるスポーツイベントが開催できないか検討

第3節 スポーツ施設の充実

- 1 **スポーツ施設の管理・運営★**
- 2 学校体育施設の活用

市民体育館の改修工事
使用料の見直し

★重点施策

《パブリックビューイング》



《ニューリバーロードレースin八千代》



《ソフトバレーボール大会》



数値目標

本計画によるスポーツの推進効果を明確に把握できるように、定量的な指標を設定し、目標達成を目指します。計画期間内であっても、必要に応じて目標値の見直しをするものとします。

目標値1 「週1回以上のスポーツ実施率」
58.4% → 75%

目標値2 「スポーツ推進委員依頼講座の受講者数」
1,115人 → 1,230人

目標値3 「体育施設利用者数」
571,694人 → 750,000人